

2020年4月3日
日本赤十字九州国際看護大学図書館
<https://www.jrckicn.ac.jp/library/>

2020

新入生に すすめる本

先生・先輩方による
読書のススメ



ウェブでも公開中！
[https://www.jrckicn.ac.jp/library/
library0503/library0502/](https://www.jrckicn.ac.jp/library/library0503/library0502/)



新入生のみなさん

ご入学おめでとう ございます

本学では「医療に携わる人として深い教養と知
いう願いから、毎年の入学式で教員と在学生によ
ここで紹介されているのは、新入生の皆さんに
と選んだ一押しの本です。ジャンルも、看護に関す
幅広く、みなさんの好奇心を刺激するような本
掲載している本は図書館に所蔵していますので、

大学での学び始めに、ぜひご覧ください。

性を身につけるため、本に親しんでほしい」と
るブックガイドを配布しています。
向けて、先生方や在学生が「ぜひ読んでほしい!」
るものから人生について考えるものや小説と
が出揃いました！
実際に手に取ってみることができます。





『窓の向こうのガーシュウィン』

宮下奈都著，集英社，2012.

所在：2F 開架 913.6||M

本書の主人公は、新入生の皆さんと同じ年代の女性です。「自分には何か足りない事実は分かっているけど、その何かが分からない」と模索しながら生きる主人公の姿は、青年期の発達課題を連想させる部分であり、人として成長していく過程を読み手に伝えてくるものがありました。

失敗を恐れず、様々な物事にチャレンジする重要性、一見相性の悪そうな相手と関わってみて、相手の意外な一面を知れたときの面白さなど、新入生の皆さんに伝えたいメッセージがたくさん込められた本です。是非読んでみてください。

成育看護領域
東 優里子 助手のおすすめ



『蝉しぐれ』

藤沢周平著，文春文庫，1988.

所在：2F 開架 913.6||F||1~2

皆さんは初恋と聞いたときに何を思い浮かべるでしょうか。人によってはうれしいものであったりほろ苦いものだったり様々だと思います。この『蝉しぐれ』は時代小説で有名な藤沢周平が書いたものであり、江戸時代を舞台に主人公の文四郎が少年から大人になるまでを描いています。文四郎は本の中でお福という年下の女の子と離れてしまうことや父親が謀反の疑いで処断されてしまうなど様々な試練を経験しますがすべての場面で主人公の心情を明確に描いているので読みやすいです。また最後に夏の盛り、蝉が騒がしく時雨のように鳴く中でお福と会う場面はとても印象的なのでぜひ読んでください。

2 年生
有吉 悠樹 さんのおすすめ



『くちびるに歌を』

中田永一著，小学館，2011.

所在：2F 開架 913.6||N

『くちびるに歌を』は中田永一さんによって書かれた小説です。この小説を知ったのは、私が高校生の時、初めての担任の先生が合唱コンクール前に緊張している私たちにかけてくれた言葉だからです。この本も、ある中学校の合唱部が合唱コンクールに向けてさまざまな思いを抱きながら成長していく物語です。合唱コンクールの指定曲であるアンジェラアキさんの「手紙」の歌詞は、1 番が 15 歳の自分から未来の自分へ宛てられ、2 番は未来の自分から 15 歳の自分に宛てた内容になっています。高校生のときに読むのと、大学生になった、今読むのでは受け取り方も変わり、何回読んでも楽しめる作品だと思います！未来に向けて手紙を書いてみるのもいいなと思いました。ぜひ読んでみてください。

3 年生
石井 亜実 さんのおすすめ



『医者いなくて : 村のヘルスケア手引書 2015 年版』

デビッド・ワナー著；河田いこひ原訳；

シェア=国際保健協力市民の会監修，

シェア=国際保健協力市民の会，2018.

所在：2F 開架 498||W



医者いなくて、病気の人に出会ったら、今のあなたは何かできるでしょうか。医療の知識がないから何もできないわけではありません。この本は私が協力隊時代に村の医療知識のないボランティアに病人に対して、どのようなことができるか指導に迷った時に出会った本です。

病気やそれに対してのお世話のことだけでなく、生活の中に組み込まれたヘルスケアについて書かれています。こんな方法もあるのかと今読んでも、面白いと感じられる本です。手書きの絵にも味があります。あなたが今抱えているカラダの問題も解決してくれる本かもしれません。

国際看護領域
宇都宮 真由子 助教のおすすめ



ミライの授業

瀬本哲史

『ミライの授業』

リンダ・グラットン、瀬本哲史著、講談社、2016。
所在:2F 開架 159.7|IT

『ミライの授業』は、義務教育で習ってきた学習が、今後の人生の何に役に立つのかを教えてください。また、今 AI が普及してきています。今後、AI が人間に代わって仕事をしていく時代となり、AI に仕事が奪われていくのではないかと懸念されています。そんな未来でも、生きていく方法が書かれています。

看護師となる皆さんにも、今後を生きていくうえで、良い人生のヒントが得られるかもしれません。ぜひ読んでみてはいかがでしょうか。

クリティカルケア・災害看護領域
衛藤 泰秀 助手のおすすめ



舟を編む

三浦しをん

『舟を編む』

三浦しをん著、光文社、2011。
所在:2F 開架 913.6|IM

この本は、15年の歳月をかけて言葉と真摯に向き合い辞書を編纂するまでの物語です。

今はインターネットで簡単に調べることができますが、誤った情報も多くあります。辞書の編纂に関わる人々が辞書に載せる言葉を大切に選び、言葉の意味を真剣に考えるという過程と言葉と向き合う真摯な姿に、インターネットとは違う辞書の重みと辞書の編纂に関わる人のプライドを感じました。私にとっては、日々の中で安易に使っている言葉について考えるきっかけになりました。また、目的に向かって一途に努力する姿に感銘を受けました。自分の強みや取り組み姿勢についても考える機会になる本だと思っています。

看護の基盤領域
小手川 良江 講師のおすすめ



『社会人として大切なことはみんなディズニーランドで教わった : そうか、「働くこと」「教えること」「本当のサービス」ってこういうことなんだ! 新版』

香取貴信著、あさ出版、2019。
所在:2F 開架 689|IK

皆さん、社会人基礎力という言葉をご存じですか? 社会人基礎力は「前に踏み出す力(アクション)」、「考え抜く力(シンキング)」、「チームで働く力(チームワーク)」の3つから構成されており、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として経済産業省が提唱しました。この本ではこれら3つの力を開園当初から養成していた東京ディズニーランドを舞台に展開していきます。

3つの力なんてそのうち付くだろうと思っている方! なかなか身につかないものなのです。私も社会人となって10年少々ですが、改めて読むと礼節のことや社会人としての考え方など未だに考えさせられます。社会に出る前の学生のうちに「社会人基礎力」を考える助けになることと思います。

さらに、この本を読んだあと東京ディズニーランドに行くと、また違う視点で楽しめるのもこの本の面白いところです。

リベラルアーツ・専門基礎
木村 涼平 助教のおすすめ



人生はワンチャンス!

『人生はワンチャンス! : 「仕事」も「遊び」も楽しくなる65の方法』

水野敬也、長沼直樹著、文響社、2012。
所在:2F 開架 159|IM

皆さんは大切にしている言葉はありますか? この本は、かわいい犬の写真が表にあり、裏には偉人の言葉が載っています。偉人の言葉には、人生の転機となる言葉や、未来への希望が沢山載っています。今から、前へ進んでいく途中で、くじけそうになった時、(もちろんそれ以外の時でも)この本を開いてみてください。人生は一度しかない! この時を楽しもう!! と思えるかもしれません。

学務課
高須賀 瞳 さんのおすすめ





ヘルスプロモーション・在宅看護領域
西尾 美登里 講師のおすすめ

『友だちの数で寿命はきまる：
人との「つながり」が最高の健康法』
石川善樹著，マガジンハウス，2014.

所在：2F 開架 498||I



看護は、「健康に向かって支援する仕事」であると私は考えています。看護師が現場で主に対象とするのは、病気や障害により、完全には健康な状態ではない人たちが殆どです。医療は発展し、昔治らなかった病気やケガもずいぶんと治る時代になりました。健康になるよう看護師は願いをこめて、運動しない人に運動することをすすめたり甘いもの好きな人に甘いものを控えるように伝えたり、ドカ食いする人にゆっくり少量の食事をかみしめながら食べるようにすすめたりするのですが、習慣を変えることはとても難しい。

自分に置き換えてみたらよくわかるでしょう。

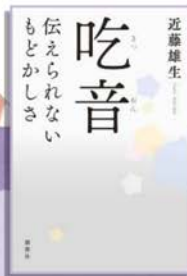
この本の中では、笑顔と寿命の関係や、お見舞いに来る人の数と寿命、恋人やパートナーとの関係がうまくいくヒントがたくさん掲載されています。心と体は一体です。心が豊かになることに注目し、健康を促進できるような人になってほしいと願います。

老年・慢性看護領域
原田 紀美枝 准教授のおすすめ



『吃音：伝えられないもどかしさ』
近藤雄生著，新潮社，2019.

所在：2F 開架 496.9||K



この本のタイトルである「吃音」とは、頭の中には伝えたいことが浮かんでいるのに言葉につまること、すなわちどもることを言います。たとえば、ファーストフード店でハンバーガーを注文するときに、「ハ」という一言が言えずに注文ができない状況が起ってしまいます。自身も吃音に悩んだ著者が 80 人以上の当事者から話を聞き描かれた苦悩や葛藤した思いは、私の想像を超えるほどつらいものでした。SNS など、情報伝達手段が発達している今、吃音に悩む人が、不安なく社会に溶け込んでいけるように、私たちにできることもたくさんありそうです。私たちにできることを考えるには、まずは当事者を理解することだと思います。これから看護を目指す皆さんには、ぜひに、読んで欲しい 1 冊です。

メンタルヘルス領域
高橋 清美 教授のおすすめ



『躁うつ病を生きる：
わたしはこの残酷で魅惑的な病気を愛せるか?』
ケイ・ジャミソン著；田中啓子訳，新曜社，1998.

所在：2F 開架 493.764||J19



医学部精神科教授であり躁うつ病を抱えた Key Redfield Jamison は、その著書である『躁うつ病を生きる：わたしはこの残酷で魅惑的な病気を愛せるか?』において、躁病の幻覚への「胸を痛くする特別の郷愁」を認め、死を意識することによって、人生を真摯に向き合っていくこうとする姿を表現した。双極症(双極性障害)は躁とうつを繰り返す病気だが、うつ病との鑑別が難しく、患者の多くは生き難き苦しみを抱えながら生活している。私が地域活動として行っているノーチラス会(双極性障害のセルフヘルプグループ)でも折に触れて話題になる一冊である。

2020年2月号雑誌「精神科看護」では特集記事を企画し、当事者やその家族、医師、心理カウンセラー、そして看護の立場からは高橋が執筆しているので興味がある方はご覧いただきたい。



『狐笛のかなた』

上橋菜穂子著，新潮社，2003.
所在：2F 開架 913.6||U



全国大学ビブリオバトル
2019
首都決戦出場

この物語は古き自然豊かな日本を舞台に、隣り合う国の領土争いに巻き込まれた1人の少女と1匹の狐を軸に進行していきます。そしてこの争いに使われる武器は“呪い”であり、一部の狐は「霊狐」として、呪術者の使い魔となっていたのです。

この1人と1匹は何の因果かお互いに惹かれあっていますが、実はお互いに敵国の人間と霊狐であることが発覚し、運命は大きく狂っていきます。

この物語は描写が非常に繊細で、その世界の空気、湿度、風や匂いを感じ、まるでそこにいるかのような感覚を得られる所が大きな魅力です。そして読み終わると、懐かしいような、温かいような、そんな感情が大きな喪失感と共に襲ってきます。是非、この不思議な体験を皆さんにも味わって欲しいです。

2年生
博多屋 桃香 さんのおすすめ



福嶋さんの
学内ビブリオバトルでの紹介本



本が苦手な私にも
全13巻を読破させた
面白さ！

『爬虫類の部屋にきた
(世にも不幸なできごと, 2)』
レモニー・スネケット著；宇佐川晶子訳，
草思社，2001。所在：2F 開架 933.7||S
※この本は絶版です。



『天久鷹央の推理カルテ』

知念実希人著，新潮社，2014.
所在：2F 開架 913.6||C



私が新入生におすすめするのは『天久鷹央の推理カルテ』シリーズです。

このシリーズは3月に公開された映画「仮面病棟」の原作者によって書かれたもので、細かい部分もリアルに描かれています。主人公である天久鷹央の個性の強さや、謎と医療との関係、また事件解決に至るまでの全てが見所です。

ミステリは苦手、という人でも読みやすい本だと思います。ぜひ一度手に取ってみてください。

2年生
林 美里 さんのおすすめ



『地雷ではなく花をください (サニーのおねがい)』

葉祥明・絵；柳瀬房子・文，自由国民社，1996.
所在：2F 開架 726.6||Y56



この絵本はサニーちゃんという名前の一匹のウサギが世界の地雷を撤去し、そこにお花を植えていくという物語です。そのサニーちゃんの旅を通して現地の状況や被害者の言葉などから地雷の恐ろしさや撤去することの難しさが描かれています。

私はこの本を読んで胸が苦しくなりました。それとともにもっと世界のことについて知っていかなければならないと気付いたきっかけにもなりました。本が苦手であり読書をしないという方にもこの本は絵本なのでとてもわかりやすいです。みなさんにもこの本を手にとって世界がいまどうなっているのかを知るきっかけにしたいと思います。

2年生
福嶋 実穂 さんのおすすめ



全国大学ビブリオバトル
2019
九州 A ブロック
地区予選出場

『海がきこえる』
氷室冴子著、徳間書店、1993.
所在:2F 開架 913.6||H



この本は、地方都市に住む高校生の主人公杜崎拓が東京から転校してきた美少女と出会い、それがきっかけで変化していく高校生活が描かれます。いろいろな思いを抱きながら高校を卒業した拓が、東京の大学に進学し、高校生活を振り返る形で話は展開していきます。回想シーンでは、周りの景色や、登場人物の感情の変化を美しく描いています。それがどこか懐かしく、引き込まれます。ぜひ読んでみてください。

2 年生
峯 まはる さんのおすすめ



『ハリー・ポッターと賢者の石』
J.K.ローリング作；松岡佑子訳、静山社、1999.
所在:2F 開架 933.7||R||1



みなさんは、魔法の世界と聞いたらどのようなイメージを持ちますか？私は、魔法が使える世界だと言われたら、ワクワクしてこんな魔法が使えるとなとかいろんなことを想像します。ハリー・ポッターの世界とは、現実世界では体験できないような非現実的な気分になることができるとも素敵な物語です。かなりの長編ものですが、本だけでなく映画にもなっている大ヒット作なので、全く知らないという人が少ないのではないかと思います。みなさん、ぜひ一度本が苦手な方は映画からでもぜひハリー・ポッターを読んでみて、非現実を体験してみてください！！

2 年生
横手 花音 さんのおすすめ



『心のブレーキを外す。』
為末大著、三笠書房、2019.
所在:2F 開架 159||T



「何かに一生懸命になりたい。エネルギーを使う方向を定め、充実したものにしたい。」

私は、今まで自分が納得できる結果を出せたことがありません。結局は、過去の成功・失敗経験に捕らわれ、どうしても人と比較してしまい、自分の壁を破ることが出来ず、とても苦しかったです。そんな自分を変えたいと悩んでいたとき、母が選んでくれた本が陸上選手の為末大さんが書いた『心のブレーキを外す。』という本です。私は、何処かで自分の限界を決め、自ら思い込んでいたことに気付くことができました。今は、自分の弱さに直面したらこの本を思い出し、自分と向き合う訓練をしています。皆さんも、この本を読んだら自分も知らない自分の可能性が見つかるかもしれません…。

3 年生
三原 咲香 さんのおすすめ



三原さんの
学内ビブリオバトルでの紹介本

強い精神の持ち主である
彼女の言葉に
勇気づけられます！



『ココ・シャネルの言葉』
山口路子著、大和書房、2017.
所在:2F 開架 593.3||Y

今回本を紹介してくれた先輩方は、昨年度の学内ビブリオバトルの発表者です。



「ビブリオバトル」を知っていますか？

ビブリオバトルは、本の紹介コミュニケーションゲームです。

「人を通して本を知る、本を通して人を知る」をキャッチコピーに、知らない本や人に出会い、世界が広がる新たな知的ゲームとして、大学や図書館だけでなく小・中学校から地域のコミュニティまで幅広く行われています。宗像市にも市民主催の「宗像ビブリオバトル倶楽部」があり、大人から子供まで楽しめるイベントとして活発に開催されています。

毎年、高校生・大学生を対象にした全国大会も開かれており、本学からもこれまでに5名の学生が全国大会に出場しました。本学では、予選会を兼ねて年2回程度学内ビブリオバトルを開催しています。

やり方はとてもシンプル！まず、発表者による本の紹介を聞き、参加者全員で、その中で一番読みたくなった本を選びます。一番多く票を集めた本がチャンプ本です。

「話すことが大好き!」「大好きな本を紹介したい!」というそのアナタ。ぜひ参加してみませんか？

「人前で発表は無理・・・!」というアナタ。堅苦しいプレゼンテーションなどではありません。まずは、どんなものか見てみませんか？

少しでも気になった方は、気軽に図書館までお声掛けください♪

Welcome!

知的書評合戦
ビブリオバトル

紹介する本は
どんなジャンル
でもOK!

